



学校法人 広島城北学園
広島城北高等学校

HIROSHIMA
JOHOKU
GAKUEN

〒732-0015 広島市東区戸坂城山町1番3号 TEL 082-229-0111 FAX 082-229-0112
1-3 Hesaka Shiroyama-cho, Higashi-ku, Hiroshima 732-0015 Japan
<https://www.hiroshimajohoku.ed.jp/>

入試等の最新情報
は本校WEBサイト
をチェック!



HIROSHIMA
JOHOKU
GAKUEN

2023 SCHOOL GUIDE

YOU ARE THE ONE.

広島城北高等学校



「子」から「個」へ。

“1”人前の、大人になるために。

学びのフィールドは次のステージへ。

自ら未来を選び取り、切り拓く、

自立した「個」としての力を養う。

CONTENTS

3年間の学び	03
科目紹介	04
学習サポート体制	05
Discovery	07
国際交流	07
FLIP	08
在校生インタビュー	09
先輩メッセージ	11
教員紹介	13
保護者座談会	14
合格実績	15
部活動(運動部)	17
部活動(文化部・同好会)	18
1日の流れ・制服	19
学校行事	20
校舎・施設	21
山紫寮	23
年間行事	25
学校概要	27
校長メッセージ	28
アクセス・スクールバス	29
Q&A	30



詳しい情報は
HPをチェック!

「個」としての自身を認め、

「個」を深化させる3年間。

城北での3年間が、

未来へ進む力を育む。



YOU ARE THE ONE

3年間の学び

EDUCATION

▶自分の人生を決定する重要な3年間

「どの大学に進むのか」、「どのような職業に就くのか」、「どのような大人になり、社会と関わっていくのか」など、自分の人生の"足場"を固める時期。伝統ある私立の男子校である城北だからこそ、できる教育があります。

授業や学校生活の動画はこちら!



高校から入学した生徒によるクラス編成
併設中学から進学した生徒との混合クラス～文系・理系～

高校1年生

高校2年生

高校3年生

自分の進路を見つめる

併設中学から進学した生徒との進度の違いを考慮し、高校から入学した生徒のクラスを単独で編成し、独自のカリキュラムに沿って学習を進めています。高校入学生同士の絆を深めつつ、高2からの文系・理系の選択に向けてLHRも充実していきます。

2年進級時に文・理選択

自分の進路を見定める

文系・理系に分かれて自らの進路を具体的に描いていきます。そのために、「大学出張ナマ講義」や「進路講演会」などのイベントを用意しています。また、進級時に一定条件の下、特別進学クラスに編入可能とし、本人の希望進路に合わせたフレキシブルな教育をていきます。

進路目標の実現に向けて日々努力する

特別進学クラスでは「5教科型文・理」、進学クラスでは「5教科型文系」、「3教科型文系」、「5教科型理系」と細分化されたクラス内にて、自らの進路実現に向けて学習を進めています。

志望する大学を目指し、課題と向き合いながら自分を磨いていきます。

最難関
国立大学

特別進学クラス

難関10大学への進学へ特化したクラスです。独自のカリキュラムを編成し、発展的な学習内容にも対応できるような体制を組んでいます。

進学クラス

長年、大学受験をサポートしてきた城北ならではのカリキュラムで、丁寧にじっくりと学びながら、志望大学合格を目指します。

難関・中堅
国公私立大学

進学コース

東京大学、京都大学、北海道大学、東北大大学、名古屋大学、大阪大学、九州大学、東京工業大学、一橋大学、神戸大学

JOHOKU POINT 1

▶男子校だからできること

広い校舎と充実した設備、一生の友となるであろう仲間との出会いがあります。思春期男子特有の成長課題を熟知した教員による成長曲線に配慮した独自の手法、プログラムに基づいた教育を実践します。何より大事にするのは、男同士の競い合い・協力・励まし合い・支え合いです。自立した「男子」になるため、とことん付き合うことをモットーとしています。



JOHOKU POINT 2

▶面倒見の良さ

生徒と教員の距離が近いのが城北の一番の特徴かもしれません。わからないことをそのままにしないために、課題や自主学習ノートの提出も厳しく面倒を見て、時には一緒に残って課題をすることもあります。授業の場だけでなく、生徒に寄り添ってサポートする教育を念頭に、優れた判断力と思考力、発信力を生徒一人ひとりが自分の力としているように、教員一同、尽力していきます。



科目紹介

SUBJECT

国語

SUBJECT
01



JAPANESE

社会

SUBJECT
02



SOCIAL STUDIES

数学

SUBJECT
03



MATHEMATICS

理科

SUBJECT
04



SCIENCE

英語

SUBJECT
05



ENGLISH

現代文では時代を先取りした文章を柔軟に取り入れています。また、読後に論旨をまとめて表現力の涵養を目指しています。古典では、徹底的に逐語訳を鍛錬し、古典世界に学ぶことで自らの認識を広げ、文化の担い手の陶冶を目指しています。

『城北ならでは』の多種多様な授業を展開することで、多角的な視点から物事を俯瞰できる確かな知識の獲得を目指します。さらに、現代社会に対する自分なりの考え方を持ち、主体的に社会貢献しようとする自立した主権者として、必要な資質・能力を磨きます。

日常生活における素朴な疑問や興味から、数学の有効性を実感し思考力・判断力を養っています。教科書を中心とした本質的な理解を授業の中で深め、論理的な解決を求めていくことで、大学入試に備えた総合的な数学力を鍛成していきます。

自然現象への興味・関心を高め、科学的・論理的に考察し表現する態度と技能を身に付けます。基礎・基本の定着から発展的学力・探究的姿勢を醸成するため、実験・観察に重点を置いた指導を展開していきます。

オンライン英会話や、問題演習を授業に取り入れることで実践的な英語能力を高めます。また、日本語の文章構成能力の向上にも力を入れることで、英語の文章をスムーズに理解できるようにしていきます。

学習サポート体制

JOHOKU SUPPORT

「伝統」と「革新」のハイブリッドこそ、
私たち城北教育の真髄です。



「可能性」

▶ 教育スタイル

城北では、「自立・自律した学習者を育成する」という大きな目標に向かって、これまでの長い歴史の中で培ってきた経験に基づき、発達段階に応じた充実のサポート体制を構築しています。

STYLE 01

「黄金サイクル」の定着に向けて

「予習→授業→復習」の黄金サイクルの確立を目指し、自主学習や個別学習の重要性を説いています。一方で同級生との学び合いや、先生への質疑応答を通した深い学びを実践できる環境も整えています。



STYLE 02

城北オリジナル教材

長い伝統の中で培われた経験を詰め込んだオリジナル教材を使用している授業もあります。中でも社会(地理・歴史)は有名で、教員の趣向を凝らした教材が生徒の理解度向上に大きく貢献しています。

STYLE 03

漢検・英検に挑戦する

年間に複数の受検機会を設けて、英検・漢検の受検を促しています。目標を定めて学習することの大切さと、目標を達成した時の自己充足感を感じてほしいとの趣旨で行っています。



STYLE 04

心身を鍛える、剣道の授業

身体を鍛え、技を鍛磨し、相手への尊敬の念を持つ姿勢を涵養する剣道を長年にわたり授業に取り入れています。各種防具の着脱から丁寧に教えていますので、競技経験の有無は問いません。

STYLE 05

キャリア教育

自らの進路を探究する機会を提供するために、種々の情報誌や、大学案内の整備、各大学の先生方を招いての出張授業の開催、本校OBの協力による職場見学の実践などを積極的に行っています。



▶ ICT活用

本校では、生徒・教員ともにタブレット端末などの活用を促進しています。教室のスクリーンに教科書の本文や教員が作成したプレゼンテーション、動画を映し出すことで、授業内容の理解を促し、生徒自らが手を動かしたり考えたりする時間を多く確保できるよう工夫しています。



1人1台iPadを導入

本校では入学時に、1人1台iPadを購入していただきます。学校生活の様々な場面で活用するとともに、生徒への「情報リテラシー教育」の指導も徹底しています。



ロイロノート

授業支援クラウドである『ロイロノート・スクール』。双方向授業を支援するツールおよび思考の可視化の支援ツールとして各教科の授業で活用されています。



Weblioオンライン英会話

1対1でフィリピンの先生方とスピーキング練習をします。英検面接試験を想定した練習では、テーマに関して自分の意見を明らかにし、論理的に理由を述べるスピーキング力を鍛えています。



Classi (クラシ)

「生徒の学び・成長」をサポートするオールインワンのプラットフォーム『Classi』。主には保護者・生徒への連絡ツールとして、また生徒自身の学習時間の把握の手段として活躍しています。

を伸ばす。

Discovery・国際交流

ORIGINAL CLASS & EXCHANGE

広い視野を持ち、自分を高める。
世界へ羽ばたく人材へ。

▶ Discovery

「ディスカバリー」は城北のネイティブスタッフが話し合いを重ねて開発した英語で行われる体験型英語探究プログラムです。Discoveryとは「発見」を意味しています。Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(技術)、Art(美術)、Mathematics(数学)など将来にわたって深く探究していく世界との出会いの機会を子供達に提供していきたいと考えています。

STEP 01

高校1年

世界の様々な社会問題の解決を目指します。現実社会の課題を見つけて、その歴史的・社会的因素を分析し、どのようなアプローチで問題解決に取り組んでいるのか、理解を深めます。

STEP 02

高校2年

フリー探究がテーマ。これまでの学びを経て、興味のある課題を自分で見つけます。さらに、大学以降で深く追究していく研究分野との出会いの場となります。



世界で
通用する人材へ

SUPPORT POINT

授業中は英語のみ。英会話を日常的に身につける。

オールイングリッシュで日常的に言葉を交わすことで、表現力、英会話スキルも自然に磨かれます。授業を行う「ディスカバリールーム」は他の教室とは異なる、自由な雰囲気の空間。外国の友達の家を訪れたようにリラックスして意見を積極的に発言できるよう工夫されています。



▶ 国際交流

POINT 01

姉妹校・提携校でホームステイ

平成14年(2002年)にイギリス・ハイクリフスクール、平成22年(2010年)に大韓民国・啓聖高校とそれぞれ交流が始まりました。現地でのホームステイや提携校の授業に参加するなど、異文化体験を行います。



イギリス・
クリスチチャーチ

ハイクリフスクール



大韓民国・大邱広域市

啓聖高校

POINT 02

国内プログラムも充実

毎学期に期末試験後の3日間を活用し、英語だけを使って過ごす「イングリッシュ・シャワー」があります。1グループ5~6名に対して英語ネイティブスピーカー講師が1名について、徹底的に英語を学びます。最終日には各学年に合わせた発表やプレゼンテーション、ディベートなども実施します。



POINT 03

留学生受け入れ

姉妹校・提携校から城北に来る生徒を約2週間受け入れます。家族全員で英語を学ぶことができるチャンスであり、ご家族からも好評を得ています。



イギリス・
クリスチチャーチ

ハイクリフスクール



大韓民国・大邱広域市

啓聖高校

POINT 04

グローバルインターン

海外の日本企業でインターン体験ができる、城北の独自企画です。城北が目指す国際理解教育とキャリア教育の究極のミックス形態として、今後より注力していきます。



FLIP

JOHOKU TRAINING PROGRAM

時代の最先端を生きる生徒に、
リーダーシップとイノベーション、そして平和を。

FLIPとは?



Frontier
Leadership for
Innovation and
Peace

次世代に生きる生徒たちに必要なリーダーシップを育むための新しい学習プログラムです。異学年生徒の交流をベースに「プログラミング」と「SDGs」の2つのテーマのもとで学んでいきます。(希望者のみ)

全受講者が対象

スタートアッププログラム

全受講者を対象として開講。異なる学年の生徒たちの交流のため、ブロックを用いたチームビルディングやコミュニケーション技術の向上を図ります。



選択講座1

プログラミングチーム

レゴ®SPIKE™を用いたプログラミングを数名に1台のプログラミングキットを用いて学びます。プログラミングを通して協働の大切さや、社会課題の解決方法について探ります。また、プログラミングコンテストへの参加も行います。レゴが好き、プログラミングが好きといったきっかけから社会貢献にもつながる興味の幅が広げられる講座です。



選択講座2

SDGsチーム

SDGsとは、2015年の国連総会で定められた持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)の略で、誰でも楽しめるカードゲームや学校外の人々との交流を通して、楽しみながらSDGsを学ぶことができます。身近な問題が実は世界レベルの問題にもつながっていることが実感でき、ミクロとマクロの視点で物事を考えることが身につき、自ら解決に向けて行動する力も育みます。



生徒インタビュー

INTERVIEW 01

プログラミング

これまで色を識別するロボットやロープを登るロボットを作りました。難しくて、なんで動かないんだろう?と悩むこともあるのですが、仲間と一緒に考えて、課題をクリアできた時は達成感があり嬉しかったです。



INTERVIEW 02

SDGs

印象に残っているのは、宇品の海岸清掃を行ったこと。思った以上にゴミがたくさんあり、環境への意識の低さを感じました。身近な問題を学び、どう解決して行くか、客観的な判断力と行動力が身についたと思います。





在校生インタビュー

STUDENTS INTERVIEW

文武両道を目指して日々成長している
在校生たちからのメッセージです。

STUDENTS 01
高校1年生
毛木 章史さん
十日市中学校出身



STUDENTS 02
高校1年生
松田 淑一郎さん
牛田中学校出身



城北高校を選んだ理由は、勉強にも部活にも主眼を置き、文武両道を実現できると思ったからです。小学生の頃から野球を続けており、高校を決める際にも野球と勉強どちらを優先するか悩んでいました。そんな時に出会ったのが城北高校です。勉強に力を入れつつ、野球部でも少ない時間の中で効率的な練習をしていました。城北高校なら勉強と野球どちらも本気で取り組めると思いました。また入学して感じたことは、先生方がとても個性的だということです。授業もそれぞれに個性があり、飽きることなく授業を受けることができます。このように城北高校には部活に打ち込みながら確実に学力も伸ばすことができる環境が整っています。



STUDENTS 03

高校2年生
富山 陽一郎さん
広島大学附属東雲中学校出身



STUDENTS 04

高校2年生
谷口 輝大さん
長束中学校出身



STUDENTS 05

高校2年生
藤山 夢大さん
牛田中学校出身



STUDENTS 06

高校3年生
香嶋 涼さん
五日市南中学校出身



STUDENTS 07

高校3年生
小沢 悠仁さん
東原中学校出身



STUDENTS 08

高校3年生
大濱 陽向さん
安佐中学校出身

城北高校を受験することを決めたきっかけは高校説明会でした。城北高校の先生が学校の説明をされた時、その熱意にとても衝撃を受けたことを今でも覚えています。男子校と聞き、初めは身構えましたが、いざ入学してみると同性ということもあり、気軽に話せる友人がたくさんできました。私が思う城北高校の特徴は「環境」です。城北の先生方は熱心かつ助言は的確で、長期休暇には生徒の理解を深める補講授業までしてくださいます。そして、高校では文系・理系に分かれただけなく、社会や理科などの科目も選択できます。城北は「自分の実力を本気で伸ばしたい!」という覚悟を持っている人にはぴったりな学校だと私は思います。

僕は公立中学校から城北高校に進学しました。城北を選んだ理由は勉強と部活動を全力で取り組める環境だと思ったからです。勉強と部活動の両立は簡単なことではないからこそ城北の高いレベルで取り組みたいと思いました。先生方は楽しくわかりやすい授業をしてくださり、質問をすると優しく教えてくださるので深く学ぶことができます。また、部活動がたくさんありサポートも充実しているので勉強との両立がしやすい環境だと思います。入学前は「城北中学校から上がってくる子はどんな感じなんだろう」という不安な気持ちが大きかったけど、みんな優しくてすぐに友達になってくれました。いろいろな面で最高の環境だと思います。

城北はとても夢のある学校だと思います。なぜなら努力を怠らなければ自分の行きたい大学に通うことができるからです。どんな大学だろうが関係はありません。城北には様々な先生方がいて、勉強面での手厚いサポートがあります。先生方はとても個性がありますが、自分の教え方にこだわりがあると捉えることもあります。生徒にどのようにしたらわかりやすく伝わるかを先生方が研究した結果だと思っています。そのやり方について行けば、勉強が上手いくと思います。またわからないところがあつても先生に聞くと自分がわかるまで丁寧に教えてくださいます。自分が分からないことを恥ずかしがらず素直に学ぶ姿勢が重要だと考えました。

私は部活動に魅せられ城北を選びましたが、先生方のサポートや同級生の勉強への姿勢に良い刺激を受けて、自然と文武両道を意識することができます。男子校なので、他校への憧れもありましたが、ここまで勉強に打ち込める環境は他校にはないものだと思います。また、職員室の前で教員が質問攻めに会う光景は城北ならではです。公立中学校出身の私にとって高校からの編入は怖いことでした。自分達だけ学習の遅れている科目もあり、焦りましたが、高校編入組には同じ不安を持った人がたくさん待っていて、同じ境遇同士団結すれば、入学時の差も埋まります。男子校や中高一貫という新しい環境で、初めて発揮される力かもしれません。

城北は勉強と部活動を両立し、将来の自分の姿を見つけることができる学校だから選びました。男子校という不安を抱いていましたが、入学したら城北でよかったとすぐに思うことができました。なぜなら同級生と気兼ねなく話せて勉強のこともすぐに相談ができるからです。さらに、先生方は熱い方が多く、質問してもわかるまで教えてくださいます。城北では、友達と男子校ならではの会話や笑い、時には難しい問題をみんなで考えるなど、かけがえのない時間を過ごし、一生の思い出を作ることができます。コロナ禍で様々な行事が中止になりましたが、先生方、そして友達と過ごす何気ない日々が一番の思い出であり、城北に入学してよかったと感じることの一つです。そんな魅力溢れる城北高校で私たちと一緒に楽しい学校生活を送りましょう!

先輩メッセージ

様々な場所で活躍する卒業生からのメッセージです。



株広島朝日廣告社 代表取締役社長
広島城北高等学校同窓会 会長
佐伯 祐司さん
(1977年卒 / 12回生)

城北は、中学から6年間一貫で学ぶ「6年制」と、高校から学ぶ「3年制」の2つの入学タイプがあります。私は、後者の「3年制」でしたが、6年制と3年制、全く意識することなくスタートが出来、和気あいあいと学業に部活に学園生活を謳歌しました。体育祭、球技大会、マラソン大会はクラス単位で大いに盛り上がり、校歌の歌詞にもある「城北健男児」としての仲間意識を強めました。近年、広島の若手経済人の「城北健男児」パワーは目を見張るものがあります。一経済人として卒業生の活躍をそして連携を誇らしく思っております。



有限会社たかた屋 代表取締役
広島本通商店街振興組合 理事長
高田 諭さん
(1982年卒 / 17回生)

学園創立60周年を迎える多くの城北OBが第一線で活躍されており、随所で城北同窓生に巡り合います。年齢が違っても同窓生というだけでお互いが仲間となります。学生の本業は勉強ですが、同時に友人をたくさん作ってください。悩みを打ち明け、腹を割って話ができる友人は社会に出て本当に必要な存在です。今でも、仲間と毎月のように趣味のゴルフを楽しんだり食事をしたり、公私に渡り有意義な時間を共有しています。何物にも替えられない大切なものの、それは友人であり仲間です。そんな友人、仲間と巡り合えた城北に感謝です。



佛教大学教育学部教授
岡山県立大学名誉教授
佐藤 和順さん
(1984年卒 / 19回生)

大学で教育学(教師を志す学生には、理想の教師像を持つことの重要性も)を教えていますが、私の理想の教師像は、城北で培われました。直接ご指導いただいた先生方といつまでも直接話の出来る環境は、私立学校の強みでしょう。また私自身親元を離れ、寮で生活したことが自立に大きく役立ちました。大変ではありましたが、一生の友人も得ることができました。そしてわが子も城北の寮生活を経験。熱心な先生のもと、勉強はもちろん、友人関係、自立する力等バランスよく学べるのが城北の魅力です。



株式会社山口ファイナンシャルグループ
棕梨 敬介さん
(1989年卒 / 24回生)

城北では師弟同行の教育環境の下、文武両道の精神でサッカー部に所属していました。教育の質向上への教師陣の熱意は強く記憶しています。過去よりOBが城北に戻り、後輩のポテンシャルを最大限引き出そうとする強さの一つです。サッカー部では主体的に仲間とチームを作り、先輩から引き継ぎ、チームの組織文化を後輩に引き継ぐ経験により組織人としての基礎を学びました。師弟同行の教育環境で教育の質を磨き続ける教師陣の熱意に育まれクラブ活動にも集中取り組める環境で仲間と大切な時期を過ごしたことは、かけがえのない財産です。



株式会社ノースサンド 代表取締役
前田 知紘さん
(1997年卒 / 32回生)

私は高校から城北に入り、卓球部に入部し3年で引退するまで卓球漬けの毎日を過ごしました。当時の城北高校卓球部は全国大会レベルの選手が揃っていたこともあり、1年のうち360日くらいは練習していたような、かなり気合の入った部活だったと思います。私自身はあまり強い選手ではなかったのですが、この環境であったからこそ忍耐力や継続力がついたと思います。また、先生や先輩後輩とのコミュニケーションを通じて社会性も身につけられたと思っています。これらの経験が現在の会社経営に活かされています。



原子力規制庁 環境技官
荻野 晴之さん
(2000年卒 / 35回生)

城北には高校から進学。中学受験は不合格でした。当時、本当は分かっていないのに、分かっているふりをすることがよくありました。その後、納得するまで質問を続ける姿勢に変えてから、学力も大きく向上。城北の先生方も真正面から向き合ってくださいました。あれから20年余り、現在は、放射線防護や原子力災害対策に関する国の規制行政に関わっています。

"Don't be afraid of change. Be afraid of not changing."
既存の枠組みに捉われず、疑問があれば声を挙げる勇気を持つこと。これからも大切にしていただきたいと思います。



北備建設
松森 亮介さん
(2001年卒 / 36回生)

城北で学んだ1番は何か?それは仲間をつくる大切さです。仲間だと思える人はどんな人が?私は、一緒にいても楽な人だと思います。でも仲間って簡単にはできなくて、長い時間をかけて苦楽を共にしなければできません。大人になると友達をつくることが難しいです。それは同じ環境で苦楽を共にする機会が少ないからです。今でも、寮と一緒に苦労し過ごした友達や6年間サッカーを続けられた友達は、あの頃と変わらない関係で、かけがえのない仲間です。男だけの学校だからこそ、沢山の仲間ができるのが城北学園の魅力だと私は思います。



東京大学理学系研究科
物理学専攻 助教
松浦 弘泰さん
(2001年卒 / 36回生)

城北の図書室には大学の教科書も揃えています。私が城北生の時は、図書室で大学の教科書を見ては、「いつかこの内容を理解できるようになりたい!」という小さな野望をもったことを覚えています。現在の私は、当時理解できなかった内容を教える立場になりました。当時の小さな野望が進路の決定打になり、現在につながっています。城北には、進路に影響を与える多くの「仕掛け」があります。城北で野望をもち、未来を切り開いてください。



広島信用金庫 人事部人事課
奥本 将太郎さん
(2002年卒 / 37回生)

城北中学に入学後6年間お世話になりました。勉強面では先生方にご迷惑もおかけしましたが、愛媛大学に進学後、現在は金融機関の人事部で勤務しています。中高と野球部に所属。結果は伴いませんでしたが、男だけの青春時代に得た一生の友は私の財産です。毎年野球部で集まり、近況を報告し合うのが私の楽しみです。社会に出て感じるのは城北卒の人脈です。広島では鼎負目なしで団結力No.1ではないでしょうか。私は城北卒業生であることを誇りに思っています。在校生の皆さんも目標をもって充実した学生生活を過してください。



本洲一梅田酒造場
梅田 篤志さん
(2005年卒 / 40回生)

在学中はサッカー部に所属していましたが、大学受験のため高3の4月に引退。しかし、サッカーへの想いが募り、6月に現役復帰するという無謀な選択を(笑)。親友と10月まで部活動を続けながら学業にも励み、結果的には県ベスト16進出と志望校への現役合格を実現できました。学業・人格の両面を互いに高め合えた最幸の思い出です。



慶應義塾体育会サッカー部監督
淺海 友峰さん
(2005年卒 / 40回生)

私が監督を務める弊校サッカー部は、学生主体での組織運営を心がけ、毎年、優秀なプロサッカー選手とビジネスマンを輩出し続けています。実学やサッカー部での活動を通して、組織を自ら作る経験をし、即戦力として社会で活躍して欲しいと考えています。また自ら考え組織を作っていくためには、「人としての基礎」「文化人としての教養」の学びが重要だと感じます。城北はそれを学ぶことのできる学校です。私は学校生活で規律(ディシplin)を、飯野先生の現代文でパラドックスを、中川先生の日本史で歴史を、サッカーで人生を学びました。



電力会社
檜山 慎平さん
(2008年卒 / 43回生)

社会人となり10年が経った今、大切だと感じる事は、どのような「環境」に身を置くかということです。親身になって話を聞いてくれる先生方、気兼ねなく何でも話ができる切磋琢磨できる同級生たちが周りにいたことで、成長するために努力することを「当たり前」のこととして実践きました。また、努力し成長する楽しさを経験したことで、今でも新しい事にチャレンジすることを楽しめています。みなさんが、城北という素晴らしい「環境」に身を置くことで、努力して成長することを楽しむことができる人になってくれたら嬉しいです。

教員紹介

TEACHER

一人ひとりの考えに寄り添った指導で、
生徒の学習を支えます。



相手の気持ちを読み取ったり、気持ちを伝えたりと、実生活に生かせる国語を展開します。作文や記述問題の添削にもしっかりと付き合います。



教科書に数行で書かれている出来事も、その時代背景を学ぶ中で、よりリアルなものとして感じられる授業を心掛けています。オリジナル教材を活用して「わかりやすさ」にこだわっています。



基礎を定着させるのはもちろん、どうしてこの答えになるのか、機械的な作業にならないよう自分で考えて伝えられる数学が身につくように指導します。



実験を通して小さな“できる”を積み重ね、理科が楽しいということを知ってもらえる授業を展開します。充実した実験室で楽しく学習できます。



文法応用力、長文を読む力・書く力、日本語を瞬間に英語に直す力が身につく授業を展開します。ネイティブの先生の発音もしっかりと学べます。



楽譜への苦手意識をなくすことから始めていきます。その後、ギター・ヤリコーダーでの演奏や、iPadを使って作曲や編曲、駄メロ作りにも挑戦します。

保護者座談会

SYMPORIUM



Q1 城北中・高等学校に入学を決めた理由は?

Aさん: 先生方の踊りとかも楽しいですよね。それと、コロナで学校がお休みになった時、WEBで授業をしてくださって、すごく良かったと思うんです。

Bさん: それは城北で学んだのか、うちの子供もスーパーに行って買い物をしたら荷物をさっと持ってくれるようになりました。男の子達とワイワイやりたいっていうのがあったんでしょうね。

Cさん: 結構優しい感じの子が多いかな。Aさん: うん、優しい。すごく感じますよ。男の子でも喋り方も優しいし、とげとげしていないし。

Cさん: かといって、芯がないわけではないんですね。みんなそれぞれ自分の矜持みたいなものを持っていて。だけど人に対して思いやりがあるというか、優しさが出てきてるっていう感じです。そんな生徒が多い学校だなと思いますね。

Bさん: 中学生が高校生に対して、怖いっていうのがない感じがしますね。

Aさん: そうですよね。みんな仲いいですね。先輩後輩も仲いいし。

Bさん: 食堂でも、中学生も高校生も別に平気で一緒に食べていて。高校生が先に食べてからじゃないと中学生が食べられないとか、そういう雰囲気もないし。やっぱりその高校生を見ているからか、中学生もだんだんと大人になってきて、挨拶も高校生のようにちゃんと立ち止まって挨拶してくれるようになったりとか。すごい高校生たちが本当にいいお兄ちゃんっていうか。



Q2 城北生の印象

Aさん: 城北の子って、みんなすれていないので、お母さんたちと話してくれるし、私たち

Aさん: 先生方の踊りとかも楽しいですよね。それと、コロナで学校がお休みになった時、WEBで授業をしてくださって、すごく良かったと思うんです。

Cさん: iPadを全員に持たせて、そのiPadを通じて宿題をみたりとか、そういうのを取り入れるのが早かったです。

Aさん: 今でもロイロノートを使って宿題提出とかもありますよね。

Cさん: そのiPadに「〇〇先生から教材が届きました」と出るじゃないですか。あれがいつも届いてくるから、先生いつ休んでいるのかなと思いますよね。

Aさん: 自分がやって提出したら終わりなのかなって思っていたら、きっちり見てくださって、お返事が返ってくるんですよね。あれすごいですよね。

あと、みんな熱いですよね。勉強に対しても部活動に対しても。勉強に関しては、先生たちが朝から見てくれるんですよ。だからうちの子は塾に行かなくても、先生に明日の何時ってお約束していれば必ず見てもらっています。すごく集中力がついたなと思います。

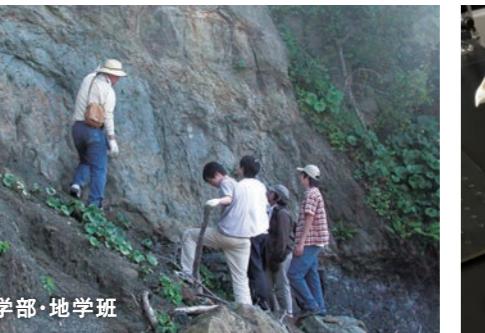


保護者座談会
の動画はこちら!



Q3 城北中・高等学校の魅力

Bさん: 私は城北の行事ですごい運動会が大好きなんんですけど、中学3年生は裸で「ソーラン」をしますよね。それがすごく楽しみで。



詳しい情報は
動画をチェック!



1日の流れ・制服

SCHEDULE & UNIFORM

仲間と過ごす学校生活の流れと
伝統ある制服をご紹介します。



▶ 1日の流れ



各授業の開始時に休憩時間とメリハリをつけるため瞑目をします。30秒ほど目を閉じて集中力を高めます。



教室でお弁当を食べたり、売店でパンを買ったり、食堂であたたかいご飯を食べたり。しっかり食べて午後からの授業に備えます。



放課後に教室や職員室前のコミュニティースペースで、復習と予習をします。わからないところは教員が丁寧に指導します。

▶ 制服



冬服



夏服



体操服

学校行事

EVENT

男子同士の競い合い・励まし合い。
生涯の思い出となる行事が盛りたくさん。



▶ 修学旅行

海外はこれまで中国、ベトナム、シンガポールなどを訪問。単なる観光では終わらないナマの異文化体験にこだわっています。
国内も地域の方々と深く触れ合える民泊を積極的に採用。沖縄の海で男同士のマリンスポーツを楽しんだりもします。



▶ 文化祭

2日間の城北楽園！模擬店や野外ライブなど中高生が一緒になって男子校ならではの盛り上がりをみせます。



▶ 体育祭

クラス、学年が一丸となってぶつかり合う姿は迫力満点。
学年が上がるにつれ逞しく成長していきます。



▶ 遠足

本校では春に新クラスの懇親を目的に遠足を行います。各学年別で登山をしたり、景勝地に赴いたり、BBQをする学年もあります。



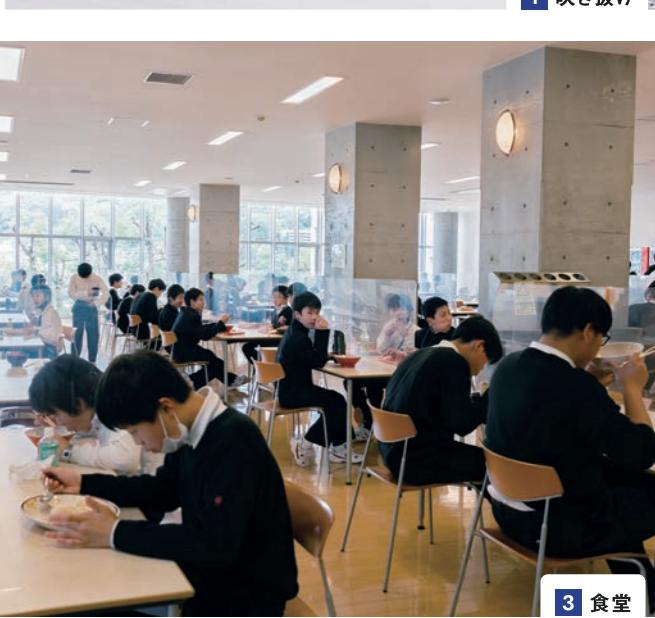
▶ 林間学校

雄大な自然に身を置き、仲間との共同生活を体験します。キャンプファイヤーや飯ごう炊さんなどの楽しみなイベントもあります。



校舎・施設

SCHOOL MAP



詳しい施設情報は
HPをチェック!

山紫寮

DORMITORY

学年の壁を超えて交流を
築ける第二の学舎です。



POINT 01

舍監の対応

3名の舍監が交代制で常駐しており、寮生の身の回りの細やかなサポートや寮内の衛生管理を行っています。

POINT 02

寮での集団生活

中学1年生から高校3年生までの寮生が、学年の壁を越えた集団生活の中で、社会生活の基本となるコミュニケーション能力を育むことができます。

一日の過ごし方

平日

- 起床
- 点呼(全員)
- 朝食
- 登校・授業
- 部活動
- 点呼(中学生)
- 入浴
- 夕食
- 点呼(全員)
- 学習時間
- 点呼(全員)
- 掃除・洗濯
- 消灯

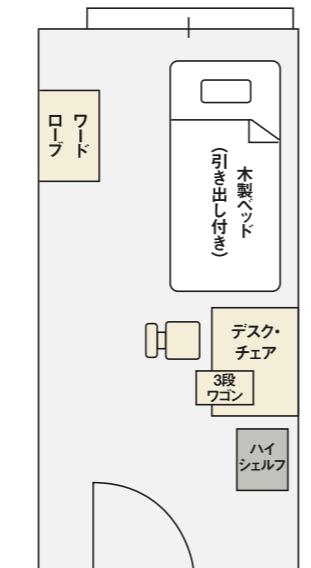
休日

- 起床
- 朝食
- 部活動
- 昼食
- 自習時間
- 自由時間
- 点呼(中学生)
- 入浴
- 夕食
- 点呼(全員)
- 学習時間
- 点呼(全員)
- 掃除・洗濯
- 消灯

▶ 居住場所



居住場所は12.5m²の広さの個室となっています。ベッド・デスク・チェア・ラックが設置されていますが、配置を換えることも可能です。布団とシーツはレンタルとなっています。エアコン、LANは備え付けです。



詳しい情報は
動画をチェック!

▶ 設備紹介



A 学習室

平日20:00～22:00の2時間、寮生全員が学習室で勉強しています。



B トレーニングルーム

エアロバイクやダンベルなどの各種トレーニング器具が設置しています。



C コミュニティルーム

各々で調理等をすることができます。多くの寮生が自由時間に交流する憩いの場です。



D 食堂

寮生は、朝食・昼食・夕食の三食を寮の食堂で食べます。土日祝祭日も三食提供します。



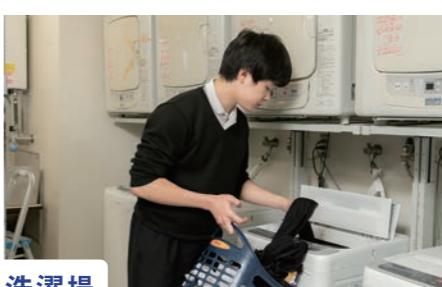
E 浴室

山紫寮自慢の浴室です。45m²の広さがあり非常にきれいだと寮生にも好評です。



F 舎監室

1F玄関前で寮生の健康観察・挨拶指導など様々な業務を行っています。



洗濯場

洗濯機と乾燥機が7台ずつ設置してあり、寮生は各自で衣類の洗濯を行います。



干場

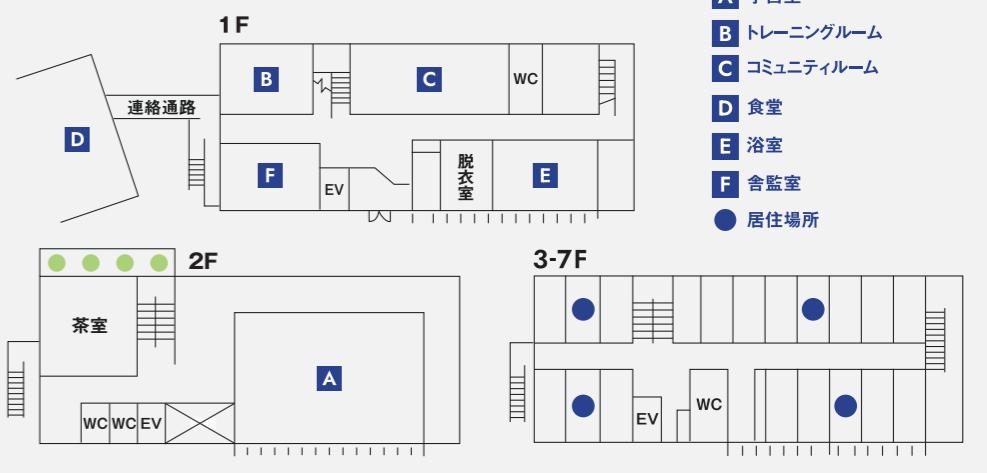
洗濯場のすぐそばに干場があります。屋根もついているので雨の日でも安心です。



冷蔵庫

各階1台ずつ冷蔵庫が設置されています。自分で購入した食材で、自由時間に料理を行う寮生もいます。

▶ フロア図



年間行事

ANNUAL SCHEDULE

勉強も行事も全力で取り組む
城北の1年間をご紹介します。



APRIL

始業式
入学式
面接週間
懇談会・進路説明会
遠足

6

JUNE
防災訓練
懇親会(高1)
体育祭

8

AUGUST
English Immersion Camp
学習合宿
東大・広大オープンキャンパス
始業式
課題テスト

5

MAY
授業参観・懇談会
中間試験
球技大会

7

JULY
進路説明会(高1・2)
期末試験
終業式

9

SEPTEMBER
進路説明会(高3)
生徒会立会演説・投票
文化祭
懇親会(高2)
生徒総会

10

OCTOBER
創立記念日
中間試験
修学旅行(高2)
イギリスハイスクール受入れプログラム

11

NOVEMBER

International Friendship Camp
授業参観・懇談会

12

DECEMBER
期末試験
終業式
韓国短期研修プログラム

1

JANUARY

始業式
大学入学共通テスト

2

FEBRUARY

マラソン大会
生徒総会
高校入試

3

MARCH

学年末試験
修了式
卒業式
学習合宿
イギリス短期研修参加プログラム



学校概要

ABOUT SCHOOL

▶ 建学の精神

英才教育の徹底

大学進学をめざす
中高一貫教育の実施

道徳教育の徹底

個性豊かな
良識ある青少年の育成

鍊身教育の徹底

質実剛健にして
心身共に豊かな青少年の育成

▶ 校訓

「学んで厭かず、教えて倦まず」

生徒は学んでも飽きていやがることなくさらに多くを学ぶ態度をとり、教師もまたその指導に満足して怠ることなく、共に研鑽し合う師弟同行の教育環境を創ることに努めることを理念としています。



▶ 教育方針

「生徒一人ひとりの人格を認め、人権を尊重し、人命を守ること」を教育実践の根底に置き、校訓に謳う師弟同行の教育環境のもと、学問的・人間的な豊かさを身につける中で、建学の精神を体現し、ひいては国際社会に貢献し得る有能な人材を育成するために、次のミッションを策定します。



- 良質な授業の展開
- 主体的な進路意識の育成
- 確固たる進路学力の育成



- 基本的生活習慣の定着
- 人権感覚・国際感覚の育成
- クラブ活動の活性化

校長メッセージ

MESSAGE



広島には
城北がある。

HIROSHIMA JOHOKU'S PRIDE

いつの間にか、人との比較で自分を評価する、それが当たり前になってしまいませんか？皆さんが授かったものを、十分に出し切っていますか？教室が、目を輝かせて学ぶ場になっていますか？学校選択は一生に一度。重要です。友達が行くから？楽しそうだから？偏差値が高いから？便利がいいから？人生の大好きな時期を過ごす学校選択はそれだけでいいのでしょうか？

自分の母校となる学校。何よりも自分に合う学校を選んで欲しいと思います。できればその学校を訪れて、そこの空気を吸ってみてください。校舎の併まいやそこに学ぶ生徒や先生たちから何かを感じ取ってください。空気感、熱気、教室への光の入り具合、おい、生徒の表情、おしゃべり、先生の言動など。

城北には城北の校風があり、誇れるクオリティーがあります。それは城北ならではのもの。好きになる人にはとことん微笑んでくれる独特的のクオリティー。ここ広島の地で、長年地道に個性の光を放って来たクオリティーです。

「大学進学に力を入れた学校がいい」・「いい仲間といい環境で学びたい」・「部活も大事にしたい」・「英語を使う機会や国際交流の機会がたくさん

欲しい」・「ICTの充実」・「探究」など新しい教育に興味がある」「自分の中にいるリーダー性を伸ばしたい」「面倒見のいい先生がいい」「先生の熱意を自分の力にしたい」「そこに通う自分に誇りを持ちたい」「一生ものの友達を作りたい」「OBが各界で多数活躍している」等々、こうした希望にお応えできるよう、私たちは城北教育の質を磨き続けています。

広島城北は昨年創立60年を迎ました。この記念すべき年に「城北プライド」という標語を掲げ、そのプライドの在処を「挑戦する勇気」・「貢献する勇気」・校訓「学んで厭かず、教えて倦まず」の中に求める教育を進めています。きっと城北でしか提供できないクオリティーを感じていただけると思います。

「広島には城北がある」

試しに、戸坂の丘の学び舎の空気を吸ってみてください。

広島城北中・高等学校
校長 松井 太



アクセス・スクールバス

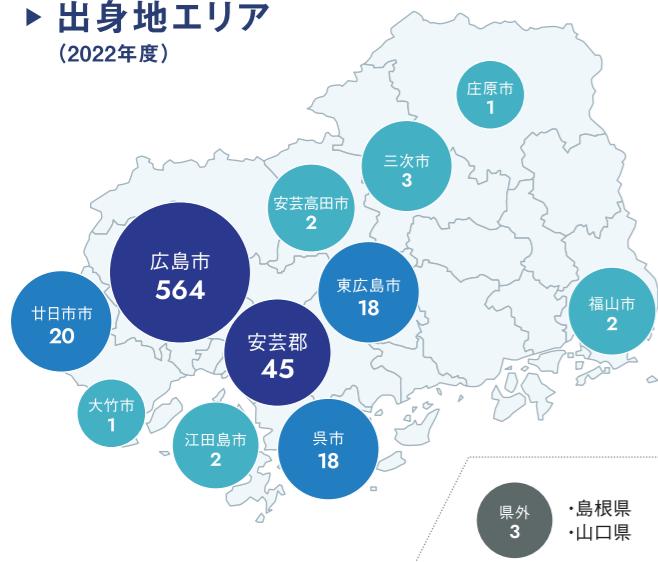
ACCESS & SCHOOL BUS



よくあるご質問



出身地エリア (2022年度)



SCHOOL BUS +

▶ 便利で安全!スクールバス運行中!

通学に時間がかかる地域からの生徒の利便性向上と安心して通学できることを目的として、スクールバスを運行。登校便、下校便ともに第1便と第2便の2便を配車しており、「学期定期券」を購入する事で乗車できます。

登校便は定刻での発車となります、下校便は曜日や行事等により発車時刻が日々異なります。放課後の部活動や補習等の有無による下校時間の違いも考慮しています。

スクールバス 運行コース

- 横川駅コース
- 春日野コース

勉強について

Q.

補習はありますか?

A.

補習の案内は適宜あります。

平素から学力定着のために必要であれば各教科の教員から補習の案内があります。また夏季・冬季・春季の各長期休暇には、各教科による補習が組されます。学力補充の指名補習、より習熟度を深めるための希望補習と様々な形式の補習が用意されています。

学校生活について

Q.

携帯電話の校内への持ち込みは許可されますか?

A.

許可していません。

本校では携帯電話を学習に資するものとは捉えていません。そのため、校内への持ち込みは許可していません。

クラブについて

Q.

クラブ活動は必須ですか?

A.

任意です。

クラブ活動は任意の活動としています。各クラブによって中高合同で行うかどうか異なります。吹奏楽部、少林寺拳法部、剣道部、陸上部などが中高合同で活動しています。

寮について

Q.

広島市内在住でも入寮できますか?

A.

可能です。

入寮に際しては個人面談を行い、入寮前の不安や、疑問に丁寧にお答えします。まずはお気軽にご連絡・ご相談ください。

Q&A

Q.

入学後、中学校から進級した生徒と同じクラスになりますか?

A.

1年次は別々のクラス編成です。

学習の進歩状況の違いに配慮し、高校1年次は別々のクラス編成となります。高校2年次からは6年制と3年制は混合クラスとして編成し直します。新たな出会いによって活気ある学校生活を送ってもらうことを趣旨としています。

Q.

学校行事は中高合同ですか?

A.

中高合同で行います。

基本的に学校行事は、中高合同で行います。高校生が中学生と交流を持ちながら、城北プライドを培えるのは中高一貫校の大きなメリットだと考えています。

Q.

自転車通学の範囲はありますか?

A.

一部制限があります。

戸坂町内からの自転車通学は認めていません。それ以外の範囲からは制限はありませんが、本校としては最長でも通学時間1時間が限度だと考えています。

Q.

Q.

クラブ活動は中高合同ですか?

A.

各クラブによります。

各クラブによって中高合同で行うかどうか異なります。吹奏楽部、少林寺拳法部、剣道部、陸上部などが中高合同で活動しています。

Q.

Q.

クラブ活動の時間は何時ですか?

A.

完全下校は19:00です。

開始時間は、時間割によって異なります。本校は19:00が完全下校時刻となっていますので、完全下校時刻に間に合うよう終了することになっています。

Q.

3年間の入寮が必須ですか?

A.

必須ではありません。

3年間という期間の制限はありません。これまで災害に遭われたご家庭のご子息が緊急的措置として寮から通学することで学びの機会を保障した実績があります。